

# 日本のガスハイドレート研究の歩み

～黎明期から最先端まで～

『日本のガスハイドレート研究の歩み～黎明期から最先端まで～』は 2000 年に日本エネルギー学会 天然ガス部会で MH (メタンハイドレート) 研究会が設立されてから、現在の GH (ガスハイドレート) 研究会へとつづく約 20 年にわたる活動の成果としてまとめられました。2000 年当時はまだメタンハイドレートの知名度も低く、日本でも限られた数の研究者の研究対象にすぎませんでしたが、「燃える氷」という不思議な物質が天然ガス資源になりうるかどうかを考えるうえで、分野を越えた研究者間の情報交流の場が必要でした。本書は、黎明期を支えた先達の思い出から、現在活躍中の研究開発者たちのホットな話題まで、「日本のガスハイドレート研究の今昔」が濃縮されています。

## 【目次】

第1章 ガスハイドレート研究の時間軸と GH 研究会の歩み	第3章 日本のガスハイドレート研究の黎明期
第2章 ガスハイドレート研究の最前線	3.1 節 黎明期のガスハイドレート研究者たち
2.1 節 ガスハイドレートの基礎	3.2 節 自然科学におけるガスハイドレート
2.2 節 自然界に存在するガスハイドレート	3.3 節 CCS と CO <sub>2</sub> ハイドレートによる海洋貯留
2.3 節 ガスハイドレートの資源開発と回収技術	3.4 節 資源としてのガスハイドレート
2.4 節 ガスハイドレート利用の展開	3.5 節 ガスハイドレート利用の技術開発

書名：日本のガスハイドレート研究の歩み～黎明期から最先端まで～

編集委員会：委員長 内田 努 (北海道大学)

編集幹事 竹谷 敏 (産業技術総合研究所)

編集委員 谷 篤史 (神戸大学)、川村太郎 (エネルギー総合工学研究所)

木田真人 (北見工業大学)、加藤寿仁 (三井 E&S ホールディングス)

大島 基 (産業技術総合研究所)

価格：3,500 円＋税

発刊：2020 年 9 月末日 体裁：A5 判 約 220 ページ

日本のガスハイドレート研究の歩み FAX 03-3944-0389 (mail: sale@nikko-pb.co.jp)		お申し込み日	年	月	日
貴社名					
ご住所	〒				
ご所属			ご担当		
TEL			e-mail		
部数	3,500 円 × ( ) 部 + (税、送料 100 円別)				

お問合せ・お申し込み：日本工業出版(株) 販売課 TEL 0120-974-250  
〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 sale@nikko-pb.co.jp